

# 日本光学会 平成 15 年度年次報告

## 1. 総 括

日本光学会前幹事長 山本 公明



日本光学会の会員数は 2004 年 2 月 29 日現在で正会員 1,849 名、特別会員 190 口（光学、OPTICAL REVIEW 購読口数）となっている。

本学会の定常的な事業の中で、出版関連事業では、会誌「光学」を例年通り年間 12 号順調に発行

した。本誌は、光関連の先端科学技術情報を知る貴重な情報源となっているが、第 32 巻第 6 号（2003 年 6 月）では少し趣の異なる「光学をどう教えるか」と題する光学教育に関する特集を掲載した。人材育成面を考慮し新機軸として特集したものであり、今後もこの方面へは継続的に注力していく予定である。英文論文誌「OPTICAL REVIEW」も従来通り隔月で年間 6 号を刊行した。本誌は現在 Vol. 11 を発行中であるが、Vol. 10 の掲載論文数は 121 件で、特集号の効果などにより前巻より 2 倍以上増加した。電子出版は契約上の問題で遅れているが、電子出版関連の諸課題にかかわる状況把握や対策は大きく進展しており、また早期の実現に向け不断の努力を継続しているので、もうしばらくお待ちいただきたい。

講演会、講習会関連では、まず 6 月 19、20 日に早稲田大学国際会議場で「第 28 回光学シンポジウム」を開催した。テーマは「光システム・光学素子の設計、製作、評価を中心として」と前年と同様であったが、演題数は 11 件増の 34 件となった。例年、産業界で興味深い講演が多く好評であるが、今回も過去最高と思われる 406 名の参加者を集め盛況であった。サマーセミナーは第 37 回を迎え、「光インターコネクション—夢から現実へ—」のテーマで山中湖畔荘「清溪」において 9 月 5、6 日に開催した。例年は 2 泊 3 日の日程で開催していたが、最近の社会状況を勘案し本年度は 1 泊 2 日で実施した。日程短縮によりスケジュールがタイトになったが、基礎から応用まで包含し、かつ最新の情報も含まれ充実した内容であった。参加者は 50 名とほぼ計画通りであったが、韓国から 1 名（登録は 2 名）の参加があった。本セミナーの特色となっている展示やデモのあるナイトセッションは今回も開催された。しかもかなり

大がかりに行われ、例年通り夜遅くまで交流が続き、大変好評であった。Optics Japan (OJ) は、12 月 8、9 日に浜松市アクトシティ・コンgresセンターで行われた。講演件数は 275 件と前年より 64 件増加した。今回初めて同時開催した企業展示会と、一部講演会を一般に無料公開した。参加者は一般参加者 86 名を含め 684 名に上った。平日開催にしたことや、研究グループ企画のシンポジウムを開催したことなど、いくつかの試みが効果をあげたものと思われる。また、現地実行委員会とプログラム委員会の分離や事務作業の外部委託などが有効に機能し、運営面でも大きな進歩があった。平成 15 年度の OJ は上記のように種々の面でかなり意義深いものとなった。平成 16 年度以降の開催地については、特別のことがない限り「OJ のあり方検討ワーキンググループ」の答申（2004 年：関西、2005 年：関東、2006 年：その他地域、2007 年：関東、以下 4 年を 1 周期として繰り返す）に基づき選定することにした。平成 16 年度は大阪大学コンベンションセンターで 11 月 4、5 日に開催する予定である。第 30 回冬期講習会は、本年 1 月 19、20 日に東京大学山上会館で「デジタルカメラの設計・評価技術」と題し開催された。参加者は 88 名であった。カメラの設計だけでなく、プロのカメラマンからみた評価や撮像素子の基本特性、画像処理と画質評価など関連技術が網羅されており、内容的にかなり充実したものであった。関連業務に携わる技術者にとっては、実用的で大変有用なものであったと思われる。このほかには、関西講演会（12 月 15 日、神戸）、北陸信越講演会（11 月 7 日、新潟）、カラーフォーラム（11 月 18～20 日、東京）、名古屋講演会（2 月 27 日、岡崎）、「光とバイオ、光と医療」講演会（9 月 25、26 日、東京）などを開催した。「光とバイオ、光と医療」講演会は光産業技術振興協会と共催した本年度の新しい試みであったが、海外招待講演者を含む 193 名の参加者を得て成功裡に開催できた。

本学会傘下の研究グループの活動に関しては、イメージ・サイエンス、近接場光学、コンテンポラリーオプティクス、視覚、生体医用光学、情報フォトニクス、光設計、微小光学、ホログラフィックディスプレイ、光波シンセシス、フォトニックネットワークを支える光技術研究グループが、前年度に引き続きそれぞれ特色ある活動を展開した。その中で近接場光学研究グループは、研究対象領域を拡大するため、平成 16 年度よりナノオプティクス研究グ

グループと改称し活動する。また、フォトニックネットワークを支える光技術研究グループは、次世代をより意識し、次世代フォトニックネットワークのための光技術研究グループと改称する。

表彰関連については、まず満 30 歳未満の新進の研究者に与えられる日本光学会奨励賞が、大久保信也氏（沼津工業高専）と尾下善紀氏（大阪大学）に与えられた。Optics Japan の会場で「複屈折近接場光学顕微鏡におけるプローブ出射偏光の自動補償装置の開発」（大久保氏）と「SHG 結晶を用いた超高速時間-2 次元空間信号変換システムの開発」（尾下氏）のタイトルでそれぞれ記念講演が行われた。満 40 歳未満の光学に関する原著論文の第一著者に与えられる光学論文賞は、論文“Ultrafast all optical switching by use of pulse trapping across zero-dispersion wavelength”の著者である西澤典彦氏（名古屋大学）と、論文“Wavelength elongation of GaInNAs lasers beyond 1.3  $\mu\text{m}$ ”の著者である宮本智之氏（東京工業大学）に与えられた。例年通り、平成 16 年春季応用物理学関係連合講演会時に授与式と記念講演が行われた。

国際関連では、ICO'04（2004 International Commission for Optics International Conference）を主催するための準備が進められてきている。Optics & Photonics in Technology Frontier のテーマで、2004 年 7 月 12～15 日に幕張メッセで開催する。本国際会議は ICOSN（International Conference on Optical Engineering for Sensing and Nanotechnology）および光設計研究グループによる ODF'04（2004 International Conference on Optics-photonics Design and Fabrication）と連帯し開催するが、日本光学会が主催する初めての ICO 関連国際会議であるので、多くの会員の参加を期待したい。

最後に幹事会や全般の運営にかかわるいくつかの課題についてご報告したい。日本光学会の今後の発展に向けては、上述の既存事業の一層の充実や発展のほかに、新事業の開拓と組織力の強化がある。そのための重要な施策展開については諸委員会を設置して展開しているが、新事業開拓の一環として本年度から活動している産学官連携委員会では、具体的に 3 つのワーキンググループを設置し活動を開始した。実施内容については本号に掲載されているので参照願いたい。組織力の強化に関しては、その一環として事務局が具体的に始動し各種事業や管理業務に関する支援を開始した。業務全般の把握が進めば幹事の業務支援をより一層できるようになると思われる。また、幹事会運営を補完する企画運営委員会では、本年度は時間制約上幹事会で十分審議できない課題や早期解決を迫られた問題を中心

に討議したが、本委員会により、事前検討が進み幹事会マター全体の処理スピードの向上がある程度図られたと考えている。また、企画運営委員会や一昨年の将来計画委員会の答申を反映した環境改善委員会の活動を踏まえた結果として、応用物理学会にソサイアティ制を要望し、応物学会将来構想検討ワーキンググループの報告書にソサイアティ制が将来検討課題として位置付けられた。幹事会の役員役職構成も課題のひとつであるが、平成 15 年度の幹事選挙に関しては、前年度の選挙運営ワーキンググループの答申に沿った手順で順調に実施された。本学会の発展に向けてはまだこれからと思われるが、本年度の将来計画委員会の答申内容等も考慮しながら今後施策展開されるものと考えている。

## 2. 編集集

### 「光 学」

前編集委員長 岩井 俊昭

「光学」は、日本光学会ならびに広く光学に関係する研究分野の動向と情報を、会員に日本語でお伝えする重要な責務を担っている。編集委員と編集局は、その責務と期待に応えるべく企画・編集を行い、今年度は滞りなく業務を遂行した。執筆していただいた研究者の皆様、企画を担当された編集委員、ならびに編集局のご努力により、商業誌とは一線を画する学術的な特集記事を中心とした誌面を会員の皆様に送り出すことができたことを確信している。この場をお借りして、関係各位に深くお礼申し上げる次第である。また、会員の皆様のご理解とご支援にあらためて感謝する次第である。

1 年間の活動を月平均の数字でまとめると、1 号あたり 61 ページのうち、特集 30 ページ、原著論文 9 ページ、日本光学会 news・さろん・光探訪・気になる論文コーナー・光学工房など 22 ページであり、出版費は 177 万円であった。特集はページ数上限である 30 ページを遵守しており、総ページ数も目標値どおりとなった。これも、ひとえに執筆者のご配慮と、編集委員ならびに編集局のご努力の賜物と感謝する次第である。なお、カラーページについては積極的に掲載する方針で臨んできたが、号あたり 0.5 ページと昨年より減少した。今年度は、予算の許す限りカラー化を進め、よりインパクトのある美しい誌面にしていかなることを望む。原著論文の号あたりのページ数は昨年より増加したものの、7 号、8 号、11 号、および 12 号に論文が掲載されなかった。誠に残念なことである。編集委員会と臨時

編集委員会において原著論文の取り扱いについて議論を重ね、査読者を二人制にすることで査読付き論文としての価値を高め、かつ査読期間の短縮を目指してきたが、投稿意欲を喚起するには至らなかった。編集委員会においては、投稿から掲載までの期間を6か月以内にすることを目標に努力し、かつ投稿の勧誘と宣伝に努めることを申し合わせた。

本年度の特筆すべき活動は2点あげられる。1つ目は、光学教育についてである。「光学」は、光学にかかわる分野の教育の重要性を認識し、その振興と啓蒙を推進する方針に沿って、積極的に関与することを編集委員会です承した。その一環として、論文の分類に「光学教育」を新たに追加した。また、教育が関係する論文を原著論文として「光学」に掲載するためには、論文の種類を見直す必要があり、新たに「教育報告」を追加した。さらに、6号では光学教育の特集を企画し、「光学」の新しい方向性を会員に明示した。

特筆すべき活動の2つ目は、投稿案内、投稿規定ならびに執筆要項を4月1日に全面改訂したことである。全体としては、昨今のオフィス環境のデジタル化に伴い、コンピューターの使用を強く意識する改訂となった。特に、執筆要項においてはワープロソフトの使用を前提とした内容となっており、ごく近い将来の文書電子化にスムーズに対応できるものになっている。また、参考文献としてプリントサーバー上の情報やWebの公開情報を引用する場合が多々みられるが、「一時性が強い参考文献とみなさない」という編集委員会の方針を明確に表記した。投稿案内では、「光学教育」を分類に追加することによって、投稿論文の種類に「光学報告」を導入し論文の投稿と審査の円滑化を図った。これを機に、大学・研究機関ならびに企業内の教育に携わっておられる方々のご投稿をお願いする次第である。光学編集委員会としては、「光学」を介して会員各位間で教育現場の貴重なノウハウを共有できれば幸いである。

「光学」は、最近の研究動向を幅広く会員に解説する企画誌と、日本語の研究論文を投稿・掲載できる論文誌という二面性をもつ学術雑誌であり、それゆえどちらにも特化しきれないという側面があるように思われる。特集記事については、内容の深さと広さにおいて50周年のアンケートや直接に非常によい評価をいただいている。一方、投稿論文は投稿数、掲載数ともに減少し続けているのが現実であり、投稿論文の掲載に関する是非が毎年のように議題にのぼる。日本光学会ならびに光学編集委員会は、日本語で論文を執筆することと日本語の論文を発信し続けることの重要

性を常に認識し、一貫した姿勢で取り組んでいる。したがって、会員各位の奮ってのご投稿をお願いする次第である。さらに、「光学」編集については、査読期間の短縮、文書電子化、特集記事の出版、ならびに書籍の出版事業についてなど、時代の要請に応じた対応が必要とされている。今後とも「光学」が日本光学会ならびに会員にとって有益な機関誌であり続けるよう努力するとともに、会員各位の厳しい評価と変わらぬご支援をお願いする次第である。

## 「OPTICAL REVIEW」

前編集委員長 一岡 芳樹

2003年は「OPTICAL REVIEW」発刊10年目である。1994年末の創刊以来2003年末までの総掲載論文数は864編である。ただし、9回の特集号を除く純投稿論文数は822編、掲載論文数は746編で、採択率は約90%である。

2003年度の投稿論文数は127編、掲載論文数は121編であった。前年度に比べ投稿数で45編の増、掲載論文数で69編の増である。2003年度の投稿数増加は3回の特集号に負うところが大きい。本年度の掲載論文の内訳は、Review paper (Invited paperを含む) 4編, Regular paper 102編, Letter 10編, Short note 4編, その他1編である。アジアを中心に海外からの投稿も10件を超えており、本誌が国際的にも認知されつつあることがわかる。

分野別投稿論文数も時代を反映して、特定分野だけでなく幅広い分野にわたって平均化されてきた。光が幅広い先端分野に必要とされるようになってきたことを示すものであろう。特集号を除いて分野別に多い順に列記すると、Information Optics 12編, Photonics and Optoelectronics 11編, Optical Systems and Technologies 8編, Vision, Environmental, Biomedical and Space Optics, および General and Physical Optics 各7編, Quantum Optics and Spectroscopy 5編, Lasers 4編, Nonlinear Optics と Far Infrared and Short Wavelength Optics が各2編, Optical Materials and Manufacturing Technologies 1編, その他1編であった。

2003年度のVol. 10では、ODF 2002 (3rd International Optics-photonics Design and Fabrication) および BOPM 2002 (Asian Symposium on Biomedical Optics and Photomedicine) 関連の特集号を3件組んだ。Vol. 11では、ICO '04 特集, Optics for Photonic Networks, Vision and Color, Ultrafast Optics 等の小特集を計画している。

「OPTICAL REVIEW」は日本光学会（応用物理学会）が

出版している光関連の国際学術誌である。後発であるため特色を出す必要があり、初代編集委員長の方針で投稿から出版までの時間短縮を目玉にし、当初から JJAP と同様に責任編集委員制度をとっている。本誌の広報活動として、2000 年度から「応用物理」に本誌の目次が掲載されるようになった。また、インターネットのホームページを開設し、各号の内容のアブストラクトを掲載している。2002 年度からは本誌も発行所を現在の IPAP に変更して出版することになった。

「OPTICAL REVIEW」創刊にあたって、国外の国際誌に流れている日本の光関連の原著論文の 4 分の 1 程度が吸収できればという意気込みでスタートした。しかし、ここ数年の世界の有力な国際誌の動向はグローバル化、電子化であり、現状は楽観できるものではない。「OPTICAL REVIEW」が国際誌としての地位を確保するためには、光学大国である日本にある日本光学会のアイデンティティーを保ちつつ、より幅広い光科学技術や新分野の論文の掲載、投稿論文数の増大と質的向上、世界に向けた積極的な情報発信と広報活動、サーキュレーションの拡大ひいてはサイテーションの向上に資することが喫緊の課題である。

2004 年 3 月開催の編集・出版合同委員会で、編集体制を刷新した。新編集委員長には電気通信大学の植田憲一教授を、新出版委員長には防衛大学校の高梁信明教授を選出した。また、9 名の編集委員が新委員に交代し、世代交代を図った。これを契機として、本誌のステータスを上げるために電子ジャーナル化には特に力を入れる必要があることが確認され、新編集委員長、新出版委員長の元でできるところから早急に取り組み実行していくことになった。

新編集委員長のこれからの方針として、

- 1) 「OPTICAL REVIEW」の性格づけ、特に Optical Physics and Engineering Journal としての性格づけ
- 2) 「OPTICAL REVIEW」の Distribution をよくするための方策
- 3) 「OPTICAL REVIEW」の閲読システムの迅速化
- 4) 複数査読者制への移行

などに早急に取り組まれる予定である。

会員の方々には今後とも、「OPTICAL REVIEW」発展のために、ご支援と、積極的な論文投稿等によるご協力をお願いいたします。

### 3. 平成 15 年度研究グループ活動報告

#### (1) イメージ・サイエンス研究グループ (Image Science Group)

活動休止中であったが、再開の方向で検討を始めた。

#### (2) 近接場光学研究グループ (Near Field Optics Group)

今年度前半には第 12 回研究討論会を開催した (6 月 27, 28 日, 山梨大学)。参加者 34 名, 発表件数 17 件 (内, 招待講演 1 件, ショート講演 1 件), 展示 1 件であり盛況であった。3 件が近接場光学賞を受賞した。

10 月 13~16 日に台湾で第 4 回アジア太平洋近接場光学ワークショップが開催された。本研究グループを中心とする日本人, さらには欧米を含む多数の参加者を得た。また, 将来の研究者を育成するために, 本グループがスポンサーとなって学生発表賞を授与した。台湾より 1 名, フランスより 1 名, 日本より 1 名が受賞した。

なお, 8 月に開催された本研究グループ幹事・運営委員会にて将来構想が議論され, 当該分野の発展のために, 平成 16 年度からは「ナノオプティクス研究グループ」と改名し, 近接場光を中心とする光のナノテクノロジーに関して広く情報交換する場を提供することとした。

#### (3) コンテンポラリーオプティクス研究グループ (Contemporary Optics Group)

コンテンポラリーオプティクス研究グループでは, 「これからの光学」と題し, 第 14 回研究会を 2003 年 11 月 29 日 (土) に上智大学にて開催した。「大気微量成分の吸収・散乱計測」久世宏明 (千葉大学), 「レーザ光の波長変換—疑似位相整合のインパクトと新規材料の開拓—」近藤高志 (東京大学), 「レーザ高速変調法を用いたナノ/マイクロスケール試料の熱物性値測定」清水祐公子 (産業技術総合研究所), 「アレイ導波路回折格子を用いた小型分光センサ」駒井友紀 (日本女子大学) の各先生方から興味深い話題提供がなされた。さらに, 今年は当研究グループが発足して 10 年を迎えたこともあり, 小館香椎子先生 (応用物理学会男女共同参画委員会委員長/日本女子大学) より「光学分野における男女共同参画と人材育成—コンテンポラリーオプティクス研究会の今後—」の基調講演後, 当研究グループの今後の活動方向について活発な意見交換がなされた。参加者は 19 名, 会員数は 119 名であった。

#### (4) 視覚研究グループ (Vision Research Group)

##### 1) 特別講演会

開催日: 2003 年 2 月 5 日 (水)

場 所: 東京工業大学すずかけ台キャンパス

内 容：任意スペクトル呈示装置を用いた等色関数の測定

講演者：中野靖久（広島市立大学）

共 催：「色の見えの個人差の定量化」研究体

## 2) テクニカルミーティング

開催日：2003年3月29日（土）

場 所：神奈川大学横浜キャンパス 20号館 119教室

内 容：応用物理学会講演会での発表内容についての討論

## 3) 研究会

開催日：2003年7月18日（金）

場 所：立命館大学 ひわこ・くさつキャンパス

内 容：「視聴覚情報処理および一般」に関する研究発表8件

共 催：映像情報メディア学会ヒューマンインフォメーション研究会、照明学会照明光の評価方法に関する研究調査委員会

## 4) 特別講演会

開催日：2003年9月11日（木）

場 所：早稲田大学理工学部

内 容：Retinal Imaging with Adaptive Optics

講演者：Dr. Austin Roorda (University of Houston College of Optometry)

共 催：日本視覚学会、早稲田大学

## 5) 特別講演会

開催日：2003年12月8日（木）

場 所：アクトシティ浜松研修交流センター

内 容：オプティカルフローからの知覚と行動

講演者：北崎充晃（豊橋技術科学大学）

毎年恒例となった春季応用物理学会講演会におけるテクニカルミーティングを3月に、特別講演会を2月、9月、12月に、さらに今年度から新たに始めた映像情報メディア学会との合同研究会を7月に開催した。いずれも盛況であり、研究グループメンバーにとって、深い議論と情報交換の良き場を提供した。とくに今年度は共催や協賛の講演会・研究会が多く、外部の方々との活発な交流がはかられ、今後の研究グループの新しい方向性を示したといえる。

## （5）生体医用光学研究グループ（Biomedical Optics Group: BOG）

日本光学会 Optics Japan 2003 シンポジウム・第3回生体医用光学研究会（代表世話人・春名正光）を2003年12月8、9日、アクトシティ浜松コンgresセンターで開催、シンポジウム発表29件に加え、パネル討論「医療のための先端的光応用技術の今後を考える」を行い、参加者は約

130名、両日ともにOCT、光音響効果、超短光パルス応用、皮膚の経皮的計測、血糖値計測、拡散光トモグラフィ、脳機能計測、光トポグラフィ等のテーマで興味ある発表が続き、実に活発な討論が行われた。

## （6）情報フォトンクス研究グループ（Group of Information Photonics）

情報フォトンクス研究グループでは、本年度から、機関誌（OPCOM NEWS）や研究会の開催案内など、ホームページと電子メールによる電子配信を行い、会費の徴収は行わないこととした。情報配信用メーリングリストの登録人数は90名である。

本年度は、主催3回、共催2回、協賛1回の研究会を開催し、電子版 OPCOM NEWS を2号発行した。主催した研究会は、3月10日、和泉市研究成果活用プラザ大阪、「卒業研究・修士論文講演会」、5月8日、大阪市立大学文化交流センター、「フォトニック・バイオイノフォーマティクス」、9月26、27日、真駒内ハイツ、「情報フォトンクスの新展開」である。

## （7）光設計研究グループ（Optics Design Group）

1) 会員数：約300名

2) 研究会開催

第27回研究会「小型化するIT機器と光設計」

日時：2003年2月28日、会場：東京工芸大学

講演数：6、参加者：166名

第50回応用物理学関係連合講演会シンポジウム

「最新の光設計・その応用」の企画

日時：2003年3月29日、会場：神奈川大学

講演数：6、参加者：120名

第28回研究会「光リソグラフィーを支える光設計」

日時：2003年5月30日、会場：東京工芸大学

講演数：9、参加者：119名

Optics Japan 2003 シンポジウム「第6回光設計賞記念講演」

日時：2003年12月8日、会場：アクトシティ浜松コンgresセンター

講演数：2、参加者：50名

第29回研究会

Optics Japan 2003 シンポジウム「次世代フォトニックネットワークにおけるニーズとシーズの融合」の企画（微小光学研究グループ、フォトニックネットワークを支える光技術研究グループとの合同企画）

日時：2003年12月9日、会場：アクトシティ浜松コンgresセンター

講演数：7，参加者：のべ100名以上

3) 第6回光設計賞実施

授賞式：2003年12月8日，Optics Japan 2003会場  
(アクトシティ浜松)にて

4) 会誌発行

「OPTICS DESIGN」 No. 27-29

5) 学会活動への委員派遣

光学シンポジウム実行委員，「光学」編集委員

(8) 微小光学研究グループ (Group of Microoptics)

平成15年度は4回の微小光学研究会および第9回微小光学国際会議 (MOC '03) を開催し，機関誌 MICRO-OPTICS NEWS Vol. 21, No. 1, No. 2, No. 3, No. 4 を発行した。定期購読者数 39 口。

1) 第87回研究会

開催日：2003年3月4日

テーマ：セキュリティと微小光学～光で守る個人情報～

参加者：82名

2) 第88回研究会

開催日：2003年5月22日

テーマ：光ナノテクノロジーと微小光学

参加者：128名

3) 第89回研究会

開催日：2003年7月29日

テーマ：微小光学と感覚システム

参加者：73名

4) 第90回研究会

開催日：2003年12月9日

テーマ：次世代フォトニックネットワークにおけるニーズとシーズの融合

OJ 2003において，フォトニックネットワークを支える光技術研究グループ，光設計研究グループと合同企画，参加者：のべ100名

5) 第9回微小光学国際会議 (MOC '03)

開催日：2003年10月29日～31日

参加者：217名

(9) ホログラフィックディスプレイ研究グループ (HODIC)

本年度第1回目の研究会は5月30日に大日本印刷のN研修会館で開催し，70名の参加者があり活気に満ちた研究会であった。第2回目は，9月1日に武蔵工業大学世田谷キャンパスで開催し，30名が参加し幅広い分野での議論が行われた。第3回目は，11月14日に鹿児島大学学術情報基盤センターで開催し，参加者12名により密度の高い議

論がなされた。第4回目は3月19日に日本大学で行う予定である。

(10) 光波シンセシス研究グループ (Research Group of Lightwave Synthesis)

年2回の研究会を開催している。登録会員制をとっており，年会費は無料である。メールでの研究会開催案内，諸情報の伝達を行っている。今年度は5月14日(水)に第6回研究会「あと一步まで来たホログラフィックメモリー」を東京大学生産技術研究所にて開催し，約100名の参加者があった。11月20日(木)に第7回研究会「進展する干渉計測法：時間・空間領域の光波シンセシスと光波再生法」を職業能力開発総合大学サテライト創業サポートセンターにて開催し，約40名の参加者があった。

(11) フォトニックネットワークを支える光技術研究グループ (Optics for Photonic Network)

平成15年度は，本研究グループの本格的な活動を開始して，電子情報通信学会との連携を始め，本研究グループの目的であるフォトニックネットワークを支える光技術の情報交換の場の育成を図った。また，2年間の活動の総括として，OPTICAL REVIEW に特集を企画した。

1) 研究会開催

・第4回研究会「会員による意見交換会：秋合宿」

8月31日，9月1日，鹿島本館，参加人数：19名

・第5回研究会「次世代フォトニックネットワークにおけるニーズとシーズの融合」

12月9日，アクトシティ浜松 OJ 2003 会場，参加人数：のべ100名

2) 幹事会開催 (3月28日，8月31日，12月6日)

3) ホームページとメーリングリストの整備を行い，メールによる情報提供を行った。

4) OPTICAL REVIEW においてフォトニックネットワークの特集を企画した。(招待論文3，一般投稿論文4)

4. 平成16年度研究グループ事業計画

(1) イメージ・サイエンス研究グループ (Image Science Group)

活動再開のための検討を始めた。

(2) ナノオプティクス研究グループ (Nano Optics)

旧 近接場光学研究グループ (Near Field Optics Group)

<名称変更の理由>

本研究グループは光のナノテクノロジーを支える近接場

光学についての研究活動を、日本光学会・近接場光学研究グループとして過去10年間推進した。その間の近接場光学に関する国内外の基礎研究の活発化、光メモリなどをはじめとする応用の産業化などはきわめてめざましいものがある。これらの研究開発は単に光学のみでなく、各種材料(半導体、有機材料など)、表面薄膜、光エレクトロニクス、バイオ、マイクロマシン、さらには化学、物理などが広く関連しており、学際的性格を示している。現に近接場光学研究グループの過去の研究討論会、講演会などの活動にはこれらの分野から参加する研究者・技術者の数が光学分野からの参加者数より多く、近年はその傾向が顕著になっている。

このような状況から、今後ますます重要性が増すこの分野を発展させるために、多分野にわたる研究者・技術者・学生諸氏に本研究活動の情報を配信し、より容易かつ積極的に参画いただくことが重要と判断した。そこで平成16年度からは「ナノオプティクス研究グループ」と改称し、ナノ寸法領域での光と物質との局所的相互作用に関する現象の基礎と、関連する応用を広く研究し、技術情報を交換するための場を社会に供することとした。

〈平成16年度の活動内容〉

- 1) 年度前半：研究討論会(6月末日、北海道大学)を開催。
- 2) 年度後半：分光部会によるトピカルミーティングを開催。
- 3) 第5回アジア太平洋近接場光学研究会の国内開催(2005年10月、新潟)のための企画運営準備活動を行う。
- 4) その他、必要に応じた研究会、講演会、国際的活動などを行う。

#### (3) コンテンポラリーオプティクス研究グループ (Contemporary Optics Group)

- 1) 研究会(1回)：内容未定  
企業の若手女性研究者(全員)から、研究と研究環境について講演依頼予定。
- 2) シンポジウム：内容未定  
Optics Japan等でシンポジウムを企画し、大学院の学生が参加しやすいようにする。
- 3) 入会案内の配布、掲載：応用物理学会、Optics Japan、光学、O Plus E、オプトロニクス等。
- 4) 新アドバイザリーの選出
- 5) その他  
・メーリングリストによる、研究会ニュース、就職相談などの情報交換

・アンケート調査

#### (4) 視覚研究グループ (Vision Research Group)

- 1) 開催日：2004年3月1日(月)  
場 所：立命館大学びわこ・くさつキャンパス  
内 容：シンポジウム(共催)「視覚研究とその応用」  
主 催：立命館大学 理工学研究所  
共 催：日本光学会情報フォトンクス研究グループ  
協 賛：日本視覚学会
- 2) 開催日：2004年3月31日(水)  
場 所：東京工科大学講義実験棟  
内 容：応用物理学会テクニカルミーティング
- 3) 開催日：2004年5月27日(木)、28日(金)  
場 所：立命館大学びわこ・くさつキャンパス  
内 容：研究会「視聴覚情報処理とインターフェース&応用システムおよび一般」  
共 催：電子情報通信学会ヒューマン情報処理研究会、映像情報メディア学会コンシューマエレクトロニクス研究会、映像情報メディア学会ヒューマンインフォメーション研究会
- 4) 開催日：2004年9月(詳細未定)  
場 所：未定  
内 容：特別講演会
- 5) 開催日：2004年11月(詳細未定)  
場 所：未定  
内 容：Optics Japan 2004 インフォーマルミーティング

#### (5) 生体医用光学研究グループ (Biomedical Optics Group)

日本光学会 Optics Japan 2004の生体医用光学シンポジウムを2004年11月4、5日に大阪大学にて開催、および第2回生体医用光学研究グループ主催の医光学と光医学国際シンポジウム2nd Asian Symposium on Biomedical Optics and Photomedicine 2004 (BOPM 2004)を2004年12月15~17日に台北(台湾)にて開催予定である。

#### (6) 情報フォトンクス研究グループ (Group of Information Photonics)

- 1) 概要  
ワーキンググループ制により専門化した技術内容の検討や議論を行うための活動形態を引き続き行う。機関誌OPCOM NEWSや研究会の開催案内を含め情報配信を全て電子化して行う。
- 2) 研究会  
3つのワーキンググループを結成し、研究開発における情報・アイデアの交換を行うため、各ワーキンググル

ープが企画した研究会を年1回開催する。9月中旬、宿泊形式での研究会を開催する（徳島にて開催予定）。

### 3) 機関誌

機関誌 OPCOM NEWS を、研究グループのホームページから PDF ファイルによりダウンロードする形式とする。

## (7) 光設計研究グループ (Optics Design Group)

### 1) 研究会開催

第30回研究会「光学素子の加工と評価 ～最近の話題～」

日時：2004年2月27日，会場：新宿京王プラザ

第51回応用物理学関係連合講演会シンポジウム「光設計—最近のトピックス—」の企画

日時：2004年3月29日，会場：東京工科大学

第31回研究会

### 2) 国際会議の開催

ICO '04 Tokyo (jointly held with ODF '04 & ICOSN '04)

日時：2004年7月12～15日，会場：幕張メッセ

### 3) 第7回光設計賞実施

### 4) 光設計研究グループ10周年記念祝賀会

日時：2004年2月27日，会場：新宿京王プラザ

### 5) 会誌発行

「OPTICS DESIGN」 No. 30～31

### 6) 学会活動への委員派遣

光学シンポジウム実行委員，「光学」編集委員

## (8) 微小光学研究グループ (Group of Microoptics)

### 1) 研究会開催

第91回研究会

日時：2004年3月9日（火）10：30～17：10

場所：キャンパスプラザ京都

テーマ：バイオフィotonicsと微小光学 講演数10件

第92回研究会

日時：2004年7月1日（木）

場所：能開大東京校（小平市）（予定）

テーマ：光インターコネクション関連，講演数7件（予定）電子情報通信学会システムフotonics研究会と合同企画

第93回研究会

日時：2004年9月17日（火）詳細未定

第94回研究会

日時：2004年11月25日（木）詳細未定

### 2) MICROOPTICS NEWS の発行

Vol. 22, No. 1, No. 2, No. 3, No. 4. 研究会の予稿集として研究会開催日に発行する。

### 3) 第14回微小光学特別セミナーの開催

日時：2004年6月1日（水），2日（金）（2日間）

場所：早稲田大学／国際会議場 3F 会議室

### 4) 10th Microoptics Conference (MOC '04) の開催

日時：2004年9月1日（水）～3日（金）（3日間）

場所：Friedrich-Schiller-University, Jena, Germany

主催：Friedrich-Schiller-University, Jena

## (9) ホログラフィックディスプレイ研究グループ (HODIC)

研究会は年間4回を計画している（5月，8月，11月，3月）。この研究会では，ホログラムを中心とし，立体映像など幅広い研究成果の発表の場として供している。

次に，啓蒙活動として，大学ホログラム展を年1回（11月頃）に実施を計画している。ここでは，大学生の作品を展示し，この分野への興味関心を多くの方に持っていただくことを目的としている。

さらに，優れた研究や作品に対して表彰を行っている。これは，鈴木・岡田賞と呼ばれており，毎年1回，5月の研究会において表彰式を行う予定である。

## (10) 光波シンセシス研究グループ (Research Group of Lightwave Synthesis)

第8回研究会を2004年6月25日に東京大学山上会館にて開催する。テーマは「擬位相整合QPMによる光波シンセシス」である。また，第9回研究会を2004年11月に計画されているOJのシンポジウムとして開催予定である。内容は未定である。

## (11) 次世代フotonicネットワークのための光技術研究グループ (Optics for Photonic Network)

旧フotonicネットワークを支える光技術研究グループ (Photonic Network)

平成16年度は，2年間の活動を通して，フotonicネットワークを支える光技術の情報交換の場，特に応用と基礎の“つなぎ”を担う場所の必要性を再認識し，活動の継続とさらなる展開を図る。

### 1) 活動の展開

啓蒙活動：フotonicネットワーク（通信）側からの光技術への要望に対して，具体的なテーマを挙げて情報交換を図る。

検討活動：フotonicネットワーク（通信）側からの要望を伝えるだけでなく，すでに検討が始められている光技術の検討の場として活用する。



- 2) 研究会開催 (5月, 10月, 12月)
- 3) 幹事会開催 (9月, 12月, 3月)
- 4) メールによるニュースの配信による情報提供の試行  
(継続)

## 5. 会 計

前収支担当会計幹事 平尾 明子  
前予算担当会計幹事 田中 賢一

平成15年度の予算は、平成16年度に開催されるICOの準備資金としての支出が盛り込まれていませんでした。また、欧文誌「OPTICAL REVIEW」がIPAPに業務移行し、さらに、光学事務室の開設に伴った資金についても盛り込まれていました。

会費収入は、ほぼ予算どおりでした。また、IPAPに業務委託した欧文誌の収入ならびに「光学」の業務委託先である学会事務センターからの規則的な収入もあいまって、収入全体としては、予算通りといえます。

支出は、平成16年度に開催されるICOの準備資金の臨時的な拠出(4,000,000円)があり、赤字決算となりましたが、他の支出が抑えられた上に、事業収入が増えたことにより、実質上は黒字(1,498,643円)であったといえます。

ところで、平成16年度の予算は、50周年事業であったCD-ROMの出版に関する支出(学会事務センターの請求の大幅なる遅れ)を行う関係上、増益にはなりません。しかしながら、ICOにおける受入金収入を見込んでいることと、これまでの収入・支出の状況に照らし合わせた予算を組んだ関係上、収入・支出は相殺され、健全な運営がなされると考えております。

また、今回の予算においては、光学事務室における実質上の予算組むと、欧文誌の電子化費用を盛り込んだことが、特徴といえます。これらをはじめとして、会員に対してのサービス向上と、健全運営とがなされるよう、幹事会ともども実現を進めていくとともに、会員の皆様のご協力をお願いしたく存じます。

## 6. 産学官連携推進事業

産学官連携推進事業担当幹事 佐藤 彰

日本光学会では、2003年3月の産学協力検討委員会の答申(「光学」第32巻7号「日本光学会 news」参照)を受け、産学官連携推進事業を開始いたしました。事業の全体

運営、戦略展開、人材育成に責任をもつ産学官連携委員会、ならびにワーキンググループが召集され、幅広い視点での議論を開始しております。2004年度末までに、将来のあるべき豊かな社会を想定した分野ビジョンと、それに至るロードマップを作成することを目標として、活動を進めております。以下に、2003年度の活動概要ならびに2004年度の活動方針をご報告させていただきます。

### (1) 産学官連携委員会の発足

第1回産学官連携委員会が召集され、事業の目的を産学協力検討委員会の答申どおり「産学官連携推進事業を通し、社会に貢献すると共に、日本光学会の発展を図る」こととすることが確認されました。また、基本理念、ビジョン、基本方針についても答申どおりとすることが確認されました。2003年度の活動の中では、「ポテンシャルの高い光科学技術を発現させ、新産業の創出を促し、社会に貢献する」という基本理念に時々立ち返りながら、「光関連技術を産学官連携の中で創出・活用し、革新的価値を創造しながら豊かな社会の建設に役立つ事業とする」というビジョンを共有して事業の進め方が議論されました。

### (2) 事業推進のための組織編成

事業推進のための組織編成については、産学協力検討委員会の答申に盛り込まれているワーキンググループ1(健康、医療、福祉)、ワーキンググループ2(情報)に加えてワーキンググループ3(環境、安全)を組織することが産学官連携委員会にて決定されました。ワーキンググループ1が本人に関連する事柄、ワーキンググループ2が他とのコミュニケーションに関連する事柄、ワーキンググループ3が場や人間の周囲に関連する事柄、と大きく3つの分野に大別することで、バランスよく全体像を構築すること、ならびに分野間での相乗効果が期待されています。

3つのワーキンググループの活動を進めるにあたって、産学官連携委員会で推薦していただいた方々に主査をお願いいたしました。各主査の判断のもと、分野ごとに4〜5名の活動メンバーが集められ、活動が開始されています。また、主査の方々には、第2回産学官連携委員会からは委員として参加していただいています。

また、広い視点で活動全般にわたってのアドバイスをいただくため、顧問を設置することが第2回産学官連携委員会で決定され、第3回産学官連携委員会より出席していただきました。

#### ○産学官連携委員会

委員長：山本公明

委員：大津元一、佐藤 彰、竹内延夫、谷田 純、  
春名正光、平井亜紀子、南 節雄、矢嶋弘義

顧問：小嶋 忠

○ワーキンググループ1（健康・医療・福祉）

主 査：春名正光

メンバー：岩井俊昭，阪口光人，田村俊世，土屋 裕，  
山田幸生

○ワーキンググループ2（情報）

主 査：谷田 純

メンバー：石黒敬三，小野修司，畠中順子，早崎芳夫

○ワーキンググループ3（環境・安全）

主 査：竹内延夫

メンバー：甘利康文，井関孝弥，伊藤日出男，中村健  
太郎，山口 滋

（3）運用規則の整備について

産学官連携委員会について，目的や運用ならびに日本光学会との関連を明確にするために，第3回産学官連携委員会で作成した産学官連携委員会規則を起案し，日本光学会幹事会で承認を受けました。

また，ワーキンググループ活動を進めていく上で，活動内で開示される，もしくは産み出される知的財産についての扱いをどうするかが，産学官連携委員会で審議されました。現在の活動フェーズにおいては，ワーキンググループ内なるべくオープンな環境で活発な議論をしていただきたいという理由から，知的財産を管理する仕組みは構築せず，各主査に適切な判断をお願いするという方針が，第4回産学官連携委員会で確認されました。

（4）ワーキンググループ活動と今後の課題

第3回，第4回の産学官連携委員会では，ワーキンググループの活動内容の報告を受け，活動の方向性についてのディスカッションも活発に行われました。

現在3つのワーキンググループでは，メールを使ったディスカッションやメンバー全員が集まっての会合を開いて，ブレインストーミングを中心に活動を進められています。活動の進め方については主査に一任させていただいて

おり，独自性が強く出て活動の幅に広がりが生まれてきております。その反面，将来の豊かな社会のビジョンについては，各ワーキンググループの境界線を明確に定義することは困難で，分野ごとに共通する部分が大きくなってきており，その共通部分に次世代の課題が埋もれているという指摘もされています。今後ますます，ワーキンググループ間の相乗効果を生み出すことが課題と考えられています。

また，将来のビジョンをロードマップに展開してゆくにあたって，光技術との結びつきを明確にすることが今後重要な作業となります。光技術は多方面の産業を繋ぐ横糸であることに異論はなく，現在もますます応用が広がってきておりますが，将来のニーズ／ウォンツからシーズに展開してゆくにあたっては，太い横糸であると認識されるよう，光学をとらえなおす必要があるとの意見が委員会で出されています。

（5）2004年度活動方針

産学協力検討委員会答申では，第1フェーズでビジョンとロードマップを作成し，第2フェーズで技術領域の抽出と展開支援に関する実現シナリオ作りをし，第3フェーズで実効を伴う発展シナリオの構築・展開をすることが提案されています。

活動2年目となる2004年度につきましては，第1フェーズの終了に向け，以下を目標として活動を推進する予定にしております。

○分野ごとにビジョンとロードマップを完成させる

○日本光学会が貢献できる技術領域の抽出ならびに展開支援を行ってゆくための方策を提案する

○活動内容を日本光学会内外に広報する

事業については，本誌上でご報告させていただくと同時に，ホームページ上でも適宜会員の皆様にご報告してまいります。今後とも皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

平成 15 年度事業報告／平成 16 年度事業計画

|                                  | 平成 15 年度事業報告<br>(平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 平成 16 年度事業計画<br>(平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日)                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 会誌の発行                         | 「光学」 Vol. 32, No. 4～Vol. 33, No. 3 (12 号)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 「光学」 Vol. 33, No. 4～Vol. 34, No. 3 (12 号)                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 2. 欧文誌の発行                        | 「OPTICAL REVIEW」 Vol. 10, No. 2～<br>Vol. 11, No. 1 (6 号)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 「OPTICAL REVIEW」 Vol. 11, No. 2～<br>Vol. 12, No. 1 (6 号)                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 3. 光学論文賞<br>・日本光学<br>会奨励賞の<br>授与 | 光学論文賞<br>・西澤典彦 (名古屋大学工学系研究科)<br>・宮本智之 (東京工業大学精密工学研究所)<br>日本光学会奨励賞<br>・大久保進也 (沼津工業高等専門学校)<br>・尾下善紀 (大阪大学工学研究科)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 光学論文賞<br><br>日本光学会奨励賞                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 5. 講演会・講習会                       | 第 28 回光学シンポジウム「光学<br>システム・光学素子の設計、製<br>作、評価を中心として」 6 月 19, 20 日<br>397 名<br>3 次元画像コンファレンス 7 月 1, 2 日<br>250 名<br>第 37 回サマーセミナー「光イン<br>ターコネクションー夢から現実へ<br>ー」 9 月 5, 6 日<br>50 名<br>北陸信越講演会「偏光・偏波を利用<br>した計測技術最前線」 11 月 7 日<br>42 名<br>カラーフォーラム JAPAN 2003 11 月 18～20 日<br>232 名<br>第 37 回光学関西支部連合講演会<br>「身の回りにある新しい色」 11 月 28 日<br>45 名<br>OPTICS JAPAN 2003 12 月 8, 9 日<br>598 名<br>平成 15 年度関西講演会「デジタ<br>ルカメラの最新技術を探る」 12 月 15 日<br>67 名<br>第 30 回冬期講習会「デジタルカ<br>メラの設計・評価技術」 1 月 19, 20 日<br>88 名<br>平成 15 年度名古屋講演会「高性<br>能固体レーザーと波長変換」 2 月 27 日<br>27 名 | ICO '04 7 月 12～15 日<br>第 29 回光学シンポジウム「光学<br>システム・光学素子の設計、製<br>作、評価を中心として」 6 月 17, 18 日<br>3 次元画像コンファレンス 7 月<br>第 38 回サマーセミナー 9 月<br>OPTICS JAPAN 2004 11 月 4, 5 日<br>カラーフォーラム JAPAN 2004 11 月 16～18 日<br>第 38 回光学五学会関西支部連合講演会 11 月<br>平成 16 年度関西講演会 11 月<br>北陸信越講演会 11 月<br>平成 16 年度名古屋講演会 12 月<br>第 31 回冬期講習会 1 月 |
| 5. 研究グルー<br>プ                    | イメージ・サイエンス, 近接場光学, 光波シンセシス,<br>コンテンポラリーオプティクス, 視覚, 生体医用光<br>学, 情報フォトニクス, 光設計, 微小光学, ホログ<br>ラフィックディスプレイ, フォトニックネットワ<br>ークを支える光技術                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | イメージ・サイエンス, ナノオプティクス, 光波シ<br>ンセシス, コンテンポラリーオプティクス, 視覚,<br>生体医用光学, 情報フォトニクス, 光設計, 微小光<br>学, ホログラフィックディスプレイ, 次世代フォ<br>トニックネットワークのための光技術                                                                                                                                                                              |
| 6. 幹事会・委<br>員会                   | 幹事会 3 回<br>常任幹事会 3 回<br>「光学」編集委員会 6 回<br>光科学および光技術調査委員会 5 回<br>光科学および光技術調査委員会 (関西) 3 回<br>「OPTICAL REVIEW」編集委員会 1 回<br>「OPTICAL REVIEW」出版委員会 2 回                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 幹事会 3 回<br>常任幹事会 3 回<br>「光学」編集委員会 6 回<br>光科学および光技術調査委員会 6 回<br>光科学および光技術調査委員会 (関西) 3 回<br>「OPTICAL REVIEW」編集委員会 1 回<br>「OPTICAL REVIEW」出版委員会 2 回                                                                                                                                                                   |
| 7. 会員数                           | 平成 15 年 12 月末日現在 (( ) 内は昨年度)<br>A 会員 726 名 (735 名)<br>B 会員 1,115 名 (1,131 名)<br>特別会員 174 口 [A : 97 口, B : 34 口, C : 43 口]<br>(200 口)<br>賛助会員 72 社 131 口 (76 社 135 口)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |

# 平成 15 年度収支決算

## ＜収入の部＞

平成 15 年 1 月 1 日～12 月 31 日

| 大 科 目     | 中 科 目                        | 金 額        | 内 容 (金額記入)                                                                                                                                         |
|-----------|------------------------------|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 管 理 費 収 入 |                              | 22,995,020 |                                                                                                                                                    |
|           | 会 費 収 入                      | 22,899,020 |                                                                                                                                                    |
|           | そ の 他 収 入                    | 96,000     | 幹事会懇親会費収入                                                                                                                                          |
| 事 業 収 入   |                              | 26,493,088 |                                                                                                                                                    |
|           | 講習会, 講演会収入                   | 11,359,985 | サマーセミナー 1,186,000/ 冬期講習会 2,057,150/ OPTICS JAPAN 6,106,390/<br>その他 0/ 光学シンポジウム 2,010,445/ 国際会議 0/<br>別刷代収入 2,145,900/ 広告料収入 6,300,000/ 懇親会費 48,000 |
|           | 会誌出版事業収入<br>「光 学」            | 8,493,900  |                                                                                                                                                    |
|           | 会誌出版事業収入<br>「OPTICAL REVIEW」 | 6,639,203  | 別刷投稿 6,639,203/ 科研費補助金収入 0                                                                                                                         |
|           | そ の 他 事 業 収 入                | 0          |                                                                                                                                                    |
| 雑 収 入     |                              | 709,874    |                                                                                                                                                    |
|           | 受 取 利 息                      | 12,134     |                                                                                                                                                    |
|           | 雑 収 入                        | 697,740    | バックナンバー, 資料コピー代                                                                                                                                    |
| 引 当 金 戻 入 |                              | 451,950    |                                                                                                                                                    |
|           | 回収不能引当金戻入                    | 451,950    | 14 年度会費回収不能見込額以上の回収                                                                                                                                |
| 繰 入 金 収 入 |                              | 11,685,040 |                                                                                                                                                    |
|           | 分科会賛助会費還元金                   | 4,288,000  |                                                                                                                                                    |
|           | 分科会給与補助                      | 7,397,040  | 学会担当者分給与応物から繰り入れ                                                                                                                                   |
| 当期収入合計    |                              | 62,334,972 |                                                                                                                                                    |
| 前記繰越収支差額  |                              | 33,253,451 |                                                                                                                                                    |
| 収 入 合 計   |                              | 95,588,423 |                                                                                                                                                    |

## ＜支出の部＞

| 大 科 目                  | 中 科 目         | 金 額        | 内 容 (金額記入)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|------------------------|---------------|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講習会, 講演会事業費            |               | 13,743,041 | サマーセミナー 1,178,359/ 冬期講習会 1,163,203/ OPTICS JAPAN 5,862,874/<br>その他 133,322/ 光学シンポジウム 1,405,301/ 国際会議 4,000,000/<br>サマーセミナー 48,000/ 冬期講習会 16,000/ OPTICS JAPAN 351,000/ その他<br>0/ 光学シンポジウム 24,000/ 国際会議 0/                                                                                                                                                                                                           |
|                        | 臨 時 雇 賃 金     | 439,000    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|                        | 印 刷 製 本 費     | 2,335,760  | サマーセミナー 247,090/ 冬期講習会 329,779/ OPTICS JAPAN 1,295,689/その<br>他 2,057/ 光学シンポジウム 461,145/ 国際会議 0/                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|                        | 諸 経 費         | 10,968,281 | 業務委託費 0/0/1,689,387/0/0/0, 旅費交通費 408,690/70,000/221,100/0/21,040/<br>0, 賃借料 84,000/127,750/1,395,960/0/371,700/0, 通信運搬費 41,350/15,540/<br>123,857/0/43,535/0, 懇親会費 27,600/162,750/547,575/0/327,845/0, 会議費 0/<br>70,677/87,019/0/57,575/0, 消耗品費 2,800/472/25,359/0/1,819/0, 諸謝金<br>303,285/369,395/72,755/66,665/91,532/0, 雑費 15,544/840/53,155/0/5,110/0, 共<br>催会合負担金 0/0/0/64,600/0/0, 補助金支出 0/0/0/0/0/4,000,000/ |
| 会誌出版事業「光 学」            |               | 23,008,921 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|                        | 印 刷 製 本 費     | 10,664,605 | 組版代 3,635,283/ 製版代 1,259,471/ 刷版代 744,450/ 印刷代 1,884,750/ 製本代<br>851,760/ 別刷印刷代 395,850/ 用紙代 1,871,041/ 一般印刷製本費 22,000/                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|                        | 郵 送 費         | 3,151,844  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|                        | 諸 経 費         | 9,192,472  | 業務委託費 6,780,000/ 編集集旅費交通費 1,597,540/ 通信運搬費 470,497/ 賃借料<br>77,000/ 会議費 75,435/ 消耗品費 0/ 諸謝金 0/ 雑費 0/ 懇親会費 192,000/                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 会誌出版事業「OPTICAL REVIEW」 |               | 10,912,437 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|                        | 印 刷 製 本 費     | 6,002,800  | 組版代 2,537,115/ 製版代 472,710/ 刷版代 286,650/ 印刷代 866,250/ 製本代<br>482,517/ 別刷印刷代 478,159/ 用紙代 879,399/ 一般印刷製本費 0/                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|                        | 郵 送 費         | 1,652,111  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|                        | 諸 経 費         | 3,257,526  | 業務委託費 2,278,000/ 英文校閲料 915,076/ 旅費交通費 8,600/ 通信運搬費<br>2,110/ 賃借料 0/ 会議費 51,240/0/ 雑費 2,500/ 懇親会費 0/                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| そ の 他 事 業 費            |               | 456,930    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|                        | 助 成 金 支 出     | 456,930    | 研究グループ助成金, 雑費                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 国際協力支援金                |               | 0          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|                        | 旅 費 補 助       | 0          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|                        | 投 稿 料 補 助     | 0          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| I C O 経 費              |               | 0          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|                        | I C O 準 備 金   | 0          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|                        | 印 刷 製 本 費     | 0          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 管理費 (含 幹事会)            |               | 14,075,872 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|                        | 給 与 手 当       | 7,397,040  | 学会担当者負担                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|                        | 一 般 印 刷 製 本 費 | 42,782     | 諸印刷代, 資料コピー代                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|                        | 賃 借 料         | 2,051,290  | 光学資料室                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|                        | 諸 経 費         | 3,918,760  | 業務委託費 854,451/ ホームページ費 0/ 旅費交通費 1,656,150/ 臨時雇賃金 0/ 通<br>信運搬費 218,677/ 電話料 88,321/ 会議費 104,679/ 懇親会 165,000/ 清掃光熱水<br>料費 64,000/ 消耗品費 154,822/ 雑費 220,932/ 租税公課 50,223/ 振替手数料<br>4,350/ 什器備品購入支出 163,590/ 事務所整備費 173,565/                                                                                                                                                                                           |
|                        | 回 収 不 能 引 当 金 | 666,000    | 未納会費                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 繰 入 金 支 出              |               | 1,999,150  | (他会計への支出額)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|                        | 学 会 事 務 費     | 1,999,150  | 事務手数料                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 予 備 費                  |               | 0          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 当期支出合計                 |               | 64,196,351 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 当期収支差額                 |               | -1,861,379 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 次期繰越収支差額               |               | 31,392,072 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

# 平成 16 年度収支予算

## <収入の部>

平成 16 年 1 月 1 日～12 月 31 日

| 大 科 目     | 中 科 目                    | 金 額         | 内 容 (金額記入)                                                                                                                              |
|-----------|--------------------------|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 管 理 費 収 入 |                          | 23,314,000  |                                                                                                                                         |
|           | 会 費 収 入                  | 23,314,000  |                                                                                                                                         |
|           | そ の 他 収 入                | 0           |                                                                                                                                         |
| 事 業 収 入   |                          | 25,050,000  |                                                                                                                                         |
|           | 講習会, 講演会収入               | 10,550,000  | サマーセミナー 1,700,000/ 冬期講習会 1,950,000/ OPTICS JAPAN 5,300,000/ その他 0/ 光学シンポジウム 1,600,000/ 国際会議 0/ 別刷代収入 2,200,000/ 広告料収入 6,300,000/ 懇親会費 0 |
|           | 会誌出版事業収入「光学」             | 8,500,000   |                                                                                                                                         |
|           | 会誌出版事業収入「OPTICAL REVIEW」 | 6,000,000   | 別刷投稿 6,000,000/ 科研費補助金収入 0                                                                                                              |
|           | そ の 他 事 業 収 入            | 0           |                                                                                                                                         |
| 雑 収 入     |                          | 400,000     |                                                                                                                                         |
|           |                          | 0           |                                                                                                                                         |
|           | 受 取 利 息                  | 60,000      |                                                                                                                                         |
|           | 雑 収 入                    | 340,000     | バックナンバー, 資料コピー代                                                                                                                         |
| 国際会議受入金収入 |                          | 9,000,000   |                                                                                                                                         |
|           |                          | 9,000,000   |                                                                                                                                         |
| 引 当 金 戻 入 |                          | 0           |                                                                                                                                         |
|           | 回収不能引当金戻入                | 0           | 14 年度会費回収不能見込額以上の回収                                                                                                                     |
| 繰 入 金 収 入 |                          | 11,531,040  |                                                                                                                                         |
|           | 分科会賛助会費還元金               | 4,224,000   |                                                                                                                                         |
|           | 分 科 会 給 与 補 助            | 7,307,040   | 学会担当者分給与応物から繰り入れ                                                                                                                        |
| 当期収入合計    |                          | 69,295,040  |                                                                                                                                         |
| 前記繰越収支差額  |                          | 37,946,172  |                                                                                                                                         |
| 収 入 合 計   |                          | 107,241,212 |                                                                                                                                         |

## <支出の部>

| 大 科 目                  | 中 科 目         | 金 額        | 内 容 (金額記入)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|------------------------|---------------|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講習会, 講演会事業費            |               | 13,753,000 | サマーセミナー 1,180,000/ 冬期講習会 788,000/ OPTICS JAPAN 5,335,000/ その他 150,000/ 光学シンポジウム 1,300,000/ 国際会議 5,000,000/                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|                        | 臨 時 雇 賃 金     | 570,000    | サマーセミナー 20,000/ 冬期講習会 35,000/ OPTICS JAPAN 485,000/ その他 0/ 光学シンポジウム 30,000/ 国際会議 0/                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|                        | 印 刷 製 本 費     | 2,250,000  | サマーセミナー 210,000/ 冬期講習会 225,000/ OPTICS JAPAN 1,445,000/その他 0/ 光学シンポジウム 370,000/ 国際会議 0/                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|                        | 諸 経 費         | 10,933,000 | 業務委託費 0/0/1,700,000/0/0/0, 旅費交通費 450,000/20,000/250,000/0/220,000/0, 賃借料 20,000/0/150,000/0/390,000/0, 通信運搬費 20,000/20,000/100,000/0/80,000/0, 懇親会費 50,000/35,000/600,000/0/0/0, 会議費 10,000/95,000/250,000/0/70,000/0, 消耗品費 10,000/2,000/65,000/0/20,000/0, 諸謝金 380,000/355,000/190,000/150,000/100,000/0, 雑費 10,000/1,000/100,000/0/20,000/0, 共催会合負担金 0/0/0/0/0/0, 補助金支出 0/0/0/0/0/5,000,000 |
| 会誌出版事業「光学」             |               | 20,455,000 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|                        | 印 刷 製 本 費     | 9,325,000  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|                        | 郵 送 費         | 3,000,000  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|                        | 諸 経 費         | 8,130,000  | 業務委託費 6,240,000/ 編集委旅費交通費 1,500,000/ 通信運搬費 50,000/ 賃借料 50,000/ 会議費 30,000/ 消耗品費 0/ 諸謝金 150,000/ 雑費 10,000/ 懇親会費 100,000/                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 会誌出版事業「OPTICAL REVIEW」 |               | 9,220,000  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|                        | 印 刷 製 本 費     | 5,000,000  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|                        | 郵 送 費         | 1,200,000  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|                        | 諸 経 費         | 3,020,000  | 業務委託費 2,300,000/ 英文校閲料 0/ 旅費交通費 140,000/ 電子化費用 500,000/ 賃借料 0/ 会議費 20,000/0/ 雑費 10,000/ 懇親会 50,000/                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| そ の 他 事 業 費            |               | 5,500,000  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|                        | CD-ROM制作事業    | 5,000,000  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|                        | 助 成 金 支 出     | 500,000    | 研究グループ助成金, 雑費                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 国際協力支援金                |               | 800,000    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|                        | 旅 費 補 助       | 300,000    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|                        | 投 稿 料 補 助     | 500,000    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| I C O 経 費              |               | 0          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|                        | I C O 準 備 金   | 0          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|                        | 印 刷 製 本 費     | 0          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 管理費 (含 幹事会)            |               | 17,449,000 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|                        | 給 与 手 当       | 7,307,000  | 学会担当者負担                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|                        | 一 般 印 刷 製 本 費 | 100,000    | 諸印刷代, 資料コピー代                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|                        | 賃 借 料         | 2,350,000  | 光学資料室                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|                        | 諸 経 費         | 6,840,000  | 業務委託費 1,500,000/ ホームページ費 2,000,000/ 旅費交通費 1,750,000/ 臨時雇賃金 200,000/ 通信運搬費 200,000/ 電話料 100,000/ 会議費 200,000/ 懇親会 100,000/ 清掃光熱水料費 100,000/ 消耗品費 200,000/ 雑費 300,000/ 租税公課 187,000/ 振替手数料 3,000/ 什器備品購入支出 0/ 事務所整備費 0/                                                                                                                                                                         |
|                        | 回 収 不 能 引 当 金 | 852,000    | 未納会費                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 繰 入 金 支 出              |               | 2,000,000  | (他会計への支出額)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|                        | 学 会 事 務 費     | 2,000,000  | 事務手数料                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 予 備 費                  |               | 0          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 当期支出合計                 |               | 69,177,000 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 当期収支差額                 |               | 118,040    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 次期繰越収支差額               |               | 38,064,212 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |